

## サミット 「日配チルドリードタイムを2日以上に延長」

サミットは、メーカーの商品製造から店舗配送まで含めた「持続可能な物流」を目指し、2025年11月よりパンを除くすべての日配チルド商品の「発注から納品までのリードタイム」を2日以上に延長した。今回、開始から3か月が経ち、メーカー・物流・店舗においてのスムーズな運用が確認されたため発表となった。

日配商品は、消費・賞味期限が短いため、発注からできるだけ短いリードタイムで納品する商習慣があり、納品が翌日になることも少なくはなかった。メーカーでは、受注数量の確定前に見込数で製造や配達手配をしなければならず、製造・物流の人手不足や食品ロスの観点からも食品流通業界の課題とされてきた。

同社では従来、リードタイムが1日・2日・3日の日配商品があったが、先んじて乳業メーカー1社と「リードタイム1日」の商品を2日に延長。品切れや店舗オペレーションの不具合などが発生しなかったことから、同様に「リードタイム1日」の取引先日配品メーカー24社においても、昨年11月より、リードタイムを2日に延長した。これにより、パンを除くすべて



の日配商品のリードタイムが2日以上となった。

リードタイムの延長は、見込み製造による余剰在庫・食品ロスの削減、計画的な配車手配による車両積載効率アップや台数削減、夜間物流・作業の削減など、流通に関わる様々な課題の解決にもつながっている。同社では引き続き「持続可能な物流」の実現に向けて課題解決に取り組んでいく。

### 関係者コメント：株式会社アキモ

以前は、他の企業の発注分も含め、受注した当日の午後に作業が集中していたのですが、サミットのリードタイムが2日になったことで、翌日の午前中に作業することができ、作業の平準化ができました。商品の製造は従来、70%予測で事前に製造し、発注数量確定後に不足分を調整していたのですが、リードタイムが延長されたことで事前製造量を90%にまで高め、時間・商品のロスを削減。配達に関しても、出荷が翌日になり早い時間帯に出発できるため、出荷場の混雑が緩和されました。また、通常便や特売増便の配達スケジュールの組み立てにも余裕ができました。

### サミット株式会社 物流部マネジャー 原田大一氏

「商品を発注した翌日に店舗に納品する」という過去から続く商習慣は、当社の物流に加え、メーカー様の物流（納品車両の手配）や、製造（見込み製造による廃棄ロス等）にも負担をおかけしていたのが現状です。当社で導入した「AI需要予測型自動発注システム」の精度が高まった現在においては、この商習慣を見直すことが可能になり、「物流」に限らず多くの分野での改善が期待できます。今回は、リードタイムを1日から2日にしましたが、今後はそれ以上に延長することも検討しており、より多くの課題解決や、取り扱い可能な商品の拡大につながればと考えています。